

協会発行 勤務医NEWS「私の開業体験」より

地元でできることをしたい

たまき診療所(南あわじ市) 2014年9月開業

守本 圭希 先生



協会では年2回、未入会の勤務医向けに、タイムリーな情報と協会の魅力を伝える勤務医ニュースを発行している。今回は、「私の開業体験」のコーナーで掲載した、南あわじ市で開業の守本圭希先生(写真)へのインタビューを紹介する。(2面へつづく)

淡路支部ニュース

2015.6.25
No.316

兵庫県保険医協会淡路支部
〒656-0051 洲本市物部
3-3-44 松本産婦人科内
Tel 0799-2210073

Let's...

6月は私にとって
は公私にわたり行事
の多い多忙の月であ
る。

まず3日は太平洋
戦争終戦直前の昭和

20年、泰緬(タイ・ミャンマー)
国境で地雷に飛ばされた受傷
の日、今も身体諸所に黒々と
石が残っている。9日は二浪
覚悟していた所へ大阪帝国大
学付属医専募集合格入学
式の日、医師という人生の方
向を決めた日でもある。20日、

4年間の軍務(含1年の捕虜
時代)を終え復員船が鹿児島
へ入港した日、「日本が見え
るぞ」の声にほぼ全員が甲板
へ、次の瞬間シーンと静まり
返った。あの感激は終生忘れ
ないだろう。復員業務の後今
度は貨物列車に揺られて30日
神戸到着、父妹と再会「只今

「よく帰ってき
たなあ」以上は私の記念日。
その間日は一定でないが洲
本市医師会、協会総会、そし
て今年支部総会と公定行
事。

最後に10日は「時の記念日」
ところが今年新聞・ラジオ・
TV全く放送なかったです
ね。どういふことなんでしょ
う? 小学校から天智天皇の故
事によつてと教えられたこと
を覚えている。

以上が私の行事予定であ
り、今年も何とかこなせるも
のと思つていますが、目を一
方外へ向けると国会は? 世界
は? 不勉強、全く理解しがた
いことばかり、ISIS、ウ
クライナ、南太平洋、ドコで
もんさん平易明快に教えて頂
けませんでしょうか。新語で
も爆買いはわかるんですが...

(21日松本記)

(1面からのつづき)

【守本圭希先生のご略歴】

1994年に東海大学医学部を卒業。京都大学医学部附属病院、公立豊岡病院、松江市立病院などで形成外科医療に従事した後、徳島大学病院で精神神経科に勤務。2014年9月に南あわじ市でたまき診療所を開院。



観葉植物やリラックスできるソファなど、落ち着いたところで診療を受けられるよう配慮された診療所でお話をうかがった

■勤務医時代、協会にご入会いただいたきっかけは何でしたか？

保険医年金に興味をもったのが最初でした。当時、入っていた保険は医賠責くらいだったので、特に将来のための積み立てに不安がありました。貯蓄も心もとない中でどうしようかと考えていたところに、協会から届いた案内が目にとまり、保険医年金の自由度の高さに興味をもちました。それで詳しい説明に来てもらい、保険医年金とグループ保険に加入したのがきっかけです。

■開業を決意されたきっかけは？

父が脳梗塞で寝たきりになってしまったのを機に、地元に戻った方がいいかなと考えるようになりました。実際にはそれから松江の病院で形成外科の立ち上げスタッフとして勤務したり、徳島大学でもともと志していた精神科の修行

をしたりと、最終的に淡路島に帰ってきたのは何年も後のことでしたが、きっかけは父のことだったと思います。

父が弱っていくのを見ながら、自分の身近な人に対して何も関われなくていいのかという思いをもつようになりました。病院での外来診療は、「自分でなければできない」というものではありません。それなら、自分の地元で貢献できるように、田舎に帰って自分のできることをしようと思ったんです。だから開業地についても地元以外は考えませんでした。

■開業準備で苦労したこと、不安だったことはなんですか？

卒業してからあちこち勤務していたので、地元に戻った縁がなかったのが不安でした。「紹介しても受けてもらえなかったらどうしよう」など心配でした。それで、

開業準備をしながら紹介してもらった病院で週に一回外来を担当させてもらったりしました。

それと、自分の体力面の不安も大きかったです。開業医は自分が倒れたら医院が回らなくなりですから、健康を維持しながら、経営も診療もやっていくことができるのかというのが一番心配でした。

■勤務医の頃と大きく変わったことは？

診療は勤務していた時と同じスタンスでやっているんですが、経営や事務的なことなど、これまで人任せだったことを自分でやらなければならぬのが大きいです。未体験のことを自分で決めなければならぬというのは、心細さもあり、しんどいなと思うこともあります。

■開業にあたって保険医協会は活用されましたか？

開業するまで保険医協会に保険請

求や審査の相談などをできるということを知りませんでした。

開業するまでの手順は自分でも把握できるんですが、保険請求についてはそうはいきません。電カルがあるから大丈夫と言われていましたが、自分で把握できないままになっていたこともあり、算定でひっかかってとても慌ててしまったことがあります。開業後は協会のサポートを活用してとても助かっていて、準備期間からもっと「ここだけは注意した方がいい」というポイントを個別に聞いておけばよかったと思います。

■これから開業される先生に一言お願いします

地方での開業も悪くないですよ。ぜひ地域に帰ってきてください！

支部会員の先生方へ

未入会のお知り合いの先生、ご子弟に入会を是非 おすすめください

保険医協会は県下で7,000人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。医学の進歩と医療技術の向上、変化する医療制度への対応、怪我や病気など万が一の時の備えなど、開業医の診療、経営、生活を全面的にサポートします。勤務医の先生も県下で1,200人を超える先生方にご利用いただいております。

協会未入会のお知り合いの先生、ご子弟に是非、入会をおすすめください。



「サポート力」
りよく
いちばん身近に
いちばん親身に

兵庫県保険医協会 第37回淡路支部総会

日時 6月27日(土)15時～

会場 洲本市健康福祉館3階(洲本市応急診療所の建物)

(参加無料)

記念シンポジウム 15時30分～17時15分

淡路島における地域包括ケアシステムの行方

報告者(予定) ①兵庫県・洲本健康福祉事務所 柿本 裕一 所長
②淡路市・洲本市・南あわじ市の地域包括ケアシステム担当者
③津本 定也 先生(洲本市・津本診療所)

司会 高田 裕 先生(洲本市・たかたクリニック)

2018年に本格的に運用される予定の地域包括ケアシステムは、現在各自治体において議論が開始されていますが、当事者となる医療機関・介護事業所・福祉施設にとってもまだ具体的な姿は見えていません。今回のシンポジウムでは、地域包括ケアシステムとは何か、概要をつかむとともに、各自治体からそれぞれの特色、現状と課題を報告いただき、淡路島内における地域包括ケアシステムの行方について、参加者とともに議論を深めていきたいと考えます。

お問い合わせは、Tel 078 - 393 - 1803 協会事務局：山下・楠まで

兵庫県保険医協会 第37回淡路支部総会(6/27) 出欠確認

返信 F A X 078 - 393 - 1802 事務局・山下あて

■支部総会/記念講演に

①ご出席()人 ②都合がつけば()人

■懇親会(17:30～参加無料)に ご出席()人

地区 _____ 市 _____ 医療機関名 _____ 代表者 _____